

令和6年1月定例教育委員会会議録

1. 日 時 令和6年1月18日（木）午後2時30分～午後3時30分
2. 場 所 岸和田市役所新館4階 第1委員会室
3. 出席者
教育長 大下 達哉 教育長職務代理者 植原 和彦 委 員 谷口 馨
委 員 野口 和江
4. 事務局出席者
教育次長兼教育総務部長 藤浪 秀樹／学校教育部長 片山 繁一
生涯学習部長 牟田 親也／総務課長 井上 慎二／学校適正配置推進課長 池内 正彰
学校給食課長 寺埜 朗／学校管理課長 松下 英俊／産業高校学務課長 橋本 純
学校教育課長 松本 秀規／人権教育課長 松本 真里／生涯学習課長 井出 英明
スポーツ振興課長 河内 みどり／郷土文化課長 田中 幸博／図書館長 濱崎 賢治
総務課参事 柿花 真紀子

開会 午後2時30分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に谷口委員を指名した。
傍聴人0名。

○大下教育長

ただいまから、1月定例教育委員会会議を開催します。

報告第1号 令和5年度 岸和田市中学校総合体育大会（冬季）の結果について

○大下教育長

報告第1号について、説明をお願いします。

○松本学校教育課長

報告第1号につきましては、令和5年度 岸和田市中学校総合体育大会（冬季）の結果についてです。

日時は、令和5年12月23日（土）～25日（月）実施で、場所は各種目、ご覧の通りとなっております。別紙をご覧ください。各種目の結果はご覧の通りとなっております。

サッカーは昨年度と同じ5校が出場したリーグ戦で、1位から3位となった岸城中・桜台中・葛城中他、土生中と北中も入れて5校が参加しました。

駅伝は男子が全区2.29km、女子は1・3・5区が2.29km、2・4区が1.145kmで、本年度の区間新記録はありませんでした。駅伝の本年度の参加校は、男子は8校13チーム、女子は

7校 10 チームで、同じ学校から2チームや3チーム出ているところがあります。参考に昨年度と比較しまして、学校数は男女ともに1校ずつ減り、チーム総数も全体として減っています。

ソフトボールは、岸城中が部の事情により欠場となり大会中止となっています。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○野口委員

市民駅伝は、陸上部に限らず学校で声をかけて参加しているそうですが、こちらは各学校の陸上部が参加ということでしょうか。

○松本学校教育課長

はい、そうです。

○大下教育長

参加校数が減っていますが、どういった理由があるのでしょうか。

○松本学校教育課長

現部員数ではチームが組めないということで、出場を断念したと聞いています。陸上部員数も毎年増減します。今年はお場がないところも来年はお場となったり、その逆も見られます。子どもの少子化や、クラブをしないという生徒も増えており、それらが学校の中のクラブ活動の数が減ってきている一つの要因です。

○谷口委員

箱根駅伝の学生選抜のように、お場機会を与えるという形の企画はあるのでしょうか。

○松本学校教育課長

冬季スポーツでは、合同チームは今まで出てきていませんが、全国の中学校体育連盟の陸上部では合同チームが出てきているということもあり、今後、市内でも出てくる可能性はあります。岸和田市中学校体育連盟からも、そういった形での参加も検討中と聞いています。

○大下教育長

今回の行事の主催はどちらになりますか。

○松本学校教育課長

市教育委員会と岸和田市中学校体育連盟で主催をしています。

○大下教育長

谷口委員のご意見は非常にいいご意見ですので、検討していただきたいと思います。

○松本学校教育課長

はい。岸和田市中学校体育連盟もそのような認識をされていますが、再度お伝えします。

○植原教育長職務代理者

夏季では、野球で合同チームがありましたね。

○松本学校教育課長

はい。ソフトボールもありましたし、過去にはサッカーもありました。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第2号 市立公民館分館の臨時休館について

報告第3号 春木図書館の臨時休館について

○大下教育長

報告第2号及び第3号について、説明をお願いします。

○井出生涯学習課長

報告第2号につきましては、市立公民館分館の臨時休館についてです。

市立公民館分館が属するラパーク岸和田関連施設が、電気設備法定点検を一斉実施することにより全館停電となるため、市立公民館分館を臨時休館します。

休館日は令和6年2月21日（水）、根拠は岸和田市立公民館及び青少年会館の設置、管理等に関する条例施行規則第2条ただし書きです。

周知は、教育委員会告示、広報きしわだ2月号掲載、岸和田市HP、館内掲示を行っています。

○濱崎図書館長

続きまして、報告第3号につきましては、春木図書館の臨時休館についてです。

岸和田市立春木図書館が属するラパーク岸和田関連施設が、電気設備法定点検を一斉実施することにより全館停電となるため、春木図書館を臨時休館します。

休館日は令和6年2月21日（水）根拠は岸和田市立図書館規則第4条です。

周知は、教育委員会告示、広報きしわだ2月号掲載、図書館だより、図書館ウェブサイト、館内掲示を行っています。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○植原教育長職務代理者

教育委員会所管ではないのですが、市民センター業務はどうなりますか。

○牟田生涯学習部長

ラパーク岸和田自体が閉まりますので、市民センター業務も閉まります。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第4号 「第31回 KIX 泉州国際マラソン 2024 ONLINE」の開催について

○大下教育長

報告第4号について、説明をお願いします。

○河内スポーツ振興課長

報告第4号につきましては、「第31回 KIX 泉州国際マラソン 2024 ONLINE」の開催についてです。

毎年2月に、泉州9市4町による広域行政の推進及び泉州地域の活性化・国際化を目的としてマラソン大会を開催してきました。近年、本マラソン大会を主催してきた KIX 泉州ツーリズムビューローが、昨年3月をもって本マラソン大会に関する事業から撤退されました。

昨年8月に、泉州9市4町により KIX 泉州国際マラソン実行委員会設立準備委員会を発足しました。

第31回大会は、KIX 泉州国際マラソン実行委員会設立準備委員会の主催により実施しますが、実走形式ではなく、GPS 機能付きスマートフォンアプリ等を活用したオンラインマラソンを实

施します。

主催は、KIX 泉州国際マラソン実行委員会設立準備委員会で、共催は泉州 9 市 4 町です。マラソンの計測の対象となる期間及び申込期間は、記載のとおりです。

種目は、フルマラソンとハーフマラソンの 2 種で参加費はいずれも税込み 3,000 円です。別途システム手数料として税込みで 220 円が必要となります。

定員は、フルとハーフを合わせて先着 3,000 人です。

周知は、広報きしわだ 12 月号及び市の HP で行います。このほか、その他欄に、過去 4 回のエントリー状況を記載しております。網掛け部分、第 28 回、第 29 回は、コロナ禍によりオンライン開催となっています。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

主催者の設立準備委員会は、令和 6 年度には、準備委員会という名がとれるのでしょうか。また、大会は、オンライン形式ではなく実走形式に戻るのでしょうか。

○河内スポーツ振興課長

準備委員会の名称がどうなるかは、現時点では分かりかねます。

実走形式につきましては、本日、作業部会が開かれ、協議が進められているところです。

○大下教育長

協議に進捗がありましたら、また報告をお願いします。

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

では、議案の審議に移ります。

議案第 1 号 補正予算について（事業費補正）

○大下教育長

議案第 1 号について、説明をお願いします。

○井上総務課長

議案第 1 号につきましては、補正予算について（事業費補正）についてです。

ご寄附をいただきましたので、令和 6 年第 1 回定例市議会に歳入・歳出補正予算を審議いただくためのものです。

匿名の個人の方から、金 100,000 円を天神山小学校の消耗品費等に充当のためということで令和 5 年 12 月 27 日にご寄附いただきました。

歳入歳出予算補正見積書は、別紙のとおりです。歳入として、指定寄附金として 10 万円を計上し、歳出として基金積立を行い、令和 6 年度当初予算で反映させていこうとするものです。

○野口委員

毎年ご寄附をいただいているかと思えます。何年位ご寄附いただいているのでしょうか。

○井上総務課長

平成 29 年度から毎年頂戴していきまして、今年で 7 年目になります。

○野口委員

何か特別な思いをお聞きになっているのでしょうか。

○井上総務課長

寄附をいただいた際に記載いただきました書類によりますと、備品購入のために5万円、消耗品等購入のために5万円をとお聞きしています。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。ないようですので、原案のとおり承認することとします。

以上で全ての案件が終了しましたが、他に何かございませんか。

○谷口委員

コロナが第5類に分類され日常生活に戻りつつありますが、インフルエンザは猛威を奮っています。北陸では大きな地震が起これ、子ども達が親元を離れて生活を余儀なくされているのを耳にしますと、離れて暮らす際の費用や炊事や洗濯といった部分までどうしているのだろうと気になりますし、大変な思いをされているのだろうと思います。

大きな事故や災害が起きますと、日常の案件を些細なものと捉えてしまいがちですが、そうであってはいけないとも思います。

不登校の問題について少し考えてみたいと思います。

全国的には、ここ2年で10万人増加し、日本全国で約30万人いると聞きます。文科省では誰一人取り残さない支援と言っていますが、親も子どもどうしていいかわからないというのが実態かなと思います。私の知り合いのところでも、学校の先生は頻繁に来てくれて相談に乗ってくれて感謝しているけれど、学ぶべき機会がなくずっと家にいる状態を何とかできないか、高校になればどういった高校を選択すればいいか、どういった高校がどんな支援をしてくれるのかが分からないと言っておられました。

NHKの持論公論で紹介されていた取組事例として、大阪市平野区の加美南中学校が、フリースクールや通信制の高校などの実態を、学校へ足を運んで調べ、不登校のご家庭に資料提供をしていて、それが非常に有難かったと報道されていました。情報を集めにくいと分からないこともあるのかなとも思いますので、そういったことも含め考えていくことが大事ではないかなと思いました。

また、知り合いから聞きましたのは、助成金が20～30万円出たりしますが、高校授業料は府から出ますが、それ以外の諸費用で100万円ほどかかるとの話でした。岸和田は住みよいまちとして、教育も一生懸命やっていくという市の方針ですので、既に行われている事もあるかもしれませんが、我々が出来ることはないのかと思い、発言の時間をいただきました。

○松本学校教育課長

コロナを機に、不登校の児童生徒数が増加傾向です。当市は、全国・府と比較して元々数が多いのですが、特に小学校5・6年生が増えてきています。次年度からは、市教育委員会として子どもサポートルーム「エスパル」をさらに充実・強化の方向で取り組んでいるところです。

文科省からの通知では、今までは復帰が目的でしたが、今は居場所として、子ども達の学習環境を確保するというのが言われています。エスパルも、適応指導教室という名前からサポートルームへと変わりました。今年度も重点課題として上げていますが、次年度は最重点課題として不登校の対策に取り組んでいきたいと思っています。

小中学校でフリースクールに通っている児童生徒については、学校としっかり連携を取っているところですが、高校となりますとそういったケアを行う機関は非常に少ないということは

確かにあるようです。通信制の高校のニーズも高まっているようです。

○井上総務課長

学んでいく上での経済的な負担ですが、小中学生については、法律上、岸和田市就学奨励費として給付を行っています。高校生以上は、一般財団法人岸和田市奨学会で、高校生向けとして入学金・授業料貸与、大学生向けとして入学金貸与を行っています。

一般財団法人岸和田市奨学会は、岸和田市の篤志家の方々と市と岸和田市教育委員会の3者が立ち上げた経緯があり、事務局は教育委員会総務課に置き貸付を行っておりますが、給付型は行っていません。

また、市としましては、市内でお勤めになられた方は、日本学生支援機構や大阪府育英会や岸和田市奨学会など、特定の奨学金を受けられた方については、産業政策課で返還補助制度が今年度から創設されました。いずれにしましても、給付型は検討に上がっていないという状況です。

○谷口委員

そういった立場にある方には、情報提供が大事であると思っています。そういった方に分かりやすい形で情報発信がなされれば大変有難いです。宜しくお願いします。

○大下教育長

来年度の重点施策の一つには、不登校への対応ということで、特に民間関係機関との連携という一言を加え、様々な個別最適な学びを保障していくことを検討しています。重点施策の検討の際にはそのあたりご議論いただけたらと思います。また、子ども達にどういう進むべき先があるのかという情報も大事ですので、合わせて検討していきたいと思っています。

○植原教育長職務代理者

年間 90 日以上欠席者で、全国の4割の者が、関係機関にかかっていない、不登校の相談にも行ってないと聞きます。岸和田もその比率が高いのではと思います。市の数値はどうかまた教えていただけますか。

○松本学校教育課長

関係機関に相談をしたが、どこにも行っていないということもあるかもしれませんので、確認してみます。

○谷口委員

2016年に教育機会確保法が施行され、フリースクールで過ごす事もいとされたことで、気持ち楽になった、罪悪感がなくなった、親側も隠さずに良くなったという声があると報道で言われていました。ただ4割の人が相談されていないとも言われていました。

○植原教育長職務代理者

学び直しも増えていると聞きます。夜間学級設置数も全国で増えていると聞きます。

○野口委員

岸城中学校の夜間学級でも、学び直しの受入れを行っていますか。

○井上総務課長

以前は形式的に中学校を卒業していたら入学できませんでしたが、十分な学びをしていない、学び直しの方も入学可能ということで、現在は受け入れをしています。また、夜間学級については、泉佐野市の佐野中学校で、令和6年度から夜間学級が開始されます。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。

ないようですので、これもちまして本日の定例教育委員会会議を閉会します。

閉会 午後3時30分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

教育長

署名委員